

屋久島生態系モニタリング

大王杉付近から宮之浦岳山頂における 植生垂直分布調査(平成14年度調査)

標高1,200m地点(大王杉付近)

プロットは、山腹中部の南方向に張り出した起伏の緩い尾根上を水平に分断するように設定。

プロットの階層別植生は、高木層(15~25m)では、優占種はスギであるがヒメシヤラも多い。他にはユズリハ、イヌガシが出現する。

亜高木層(5~15m)では、ヒメシヤラ、ユズリハ、リョウブ、カラスザンショウが出現し、その下にサクラツツジ、ハイノキが多い。

低木層(1~5m)では、ハイノキの個体数が非常に多く、サクラツツジも比較的多い。その他には、個体数は少ないがユズリハ、イヌガシ、シキミ、サカキ、ヒサカキが出現する。

草本層(1m未満)は、ハイノキが多い。ユズリハ、ヒメシヤラ、イヌガシ、サクラツツジ、アセビ、シキミ、リョウブなど、高木層や亜高木層の稚樹および上層木としては出現しないコハウチワカエデ、ヒカゲツツジの稚樹も生育する。

去る七月十日(土)、西
 日本林業経済研究会主催
 の「屋久島建林」の重要歴史と
 業の歴史を認めました。
 午後、屋久島で実際に
 携わった調査結果の
 聞き込み調査を行いました。
 総合討論では、われわれ
 の総合討論では、われわれ
 の総合討論では、われわれ
 の総合討論では、われわれ

西日本林業経済研究会 シンポジウムの開催

「屋久島建林」の重要歴史と業の歴史を認めました。

この一課、一般参加者から熱心な意見が寄せられ、

平成十六年度屋久島世界遺産 地域連絡会議幹事会の開催

屋久島世界遺産地域連絡会議の推進を図るため、平成十六年度地域連絡会議の幹事会を開催しました。この幹事会では、地域連絡会議の現状や今後の活動について話し合い、地域連絡会議の発展を図ることにしました。



シャクナンガンビ
(ジンチョウゲ科)



高盤岳

この幹事会では、地域連絡会議の現状や今後の活動について話し合い、地域連絡会議の発展を図ることにしました。

屋久島自然休養林
 保護管理協議会総会
 平成十五年年度事業実績及び
 平成十六年度事業計画の
 報告と承認を行いました。

屋久島の植物



ヤクシマアザミ
きく科

世界で種子・屋久島だけにのみ見られる。高さ約50cm。花は先が細長く、頭部は

お知らせ

洋上アルプス
 七月五日発行の
 訂正いたしました。

お詫びと訂正
 (宮崎北部署)
 須本節夫

★八月一日付け転入
 専門官(普及教育及び
 森林空間利用担当)
 中西雄一郎
 (林野庁)
 ★八月一日付け転出
 橋本侯夫(北薩署)

保全センター人の動き

長年かけて、平成十六年
 度の事業計画を策定し、
 八月一日に正式に承認
 されました。

荒川登山口への車両乗り入れ規制 について

荒川登山口駐車場入口付近において町道の路肩決壊が発生し、駐車場への車の乗り入れができなくなっています。

平成16年7月17日より当分の間、荒川三叉路から駐車場までの間は、交通の混乱を避けるため通行車両は営業バス・タクシーのみとし、レンタカー・一般車両・バイクについては乗り入れができなくなります。

登山される方は、営業バス・タクシーを御利用くださるようお願いさせていただきます。

利用者の皆様には御不便をおかけしますが、御理解いただきますようお願い申し上げます。

問い合わせ先	屋久町役場 (観光商工課・建設課)	0997-46-3221
	屋久島観光協会	0997-49-4010
	同 宮之浦案内所	0997-42-1019
	同 安房案内所	0997-46-2333

